

2021年度Sセメスター 成績評価方法の変更について

新型コロナウイルスの感染状況等にかんがみ、シラバス上、成績評価方法として定期試験(筆記試験)によることを告知していた授業科目の一部について、成績評価方法を次の一覧表記載の通り変更します。

なお、定期試験として対面型の筆記試験が実施できる否かはなお不透明な状況であり、対面型の筆記試験が実施できない場合には、オンライン形式で筆記試験を実施する等の対応を行うこととなります。

定期試験の実施方法等については、今後の状況の推移を踏まえて改めてお知らせしますので、ご注意ください。

授業科目(題目)名	担当教員名	Sセメスター成績評価方法(変更)		
		成績評価方法	備 考	伝達事項
国際私法	原田 央	もっぱら平常点による成績評価		成績評価方法は、授業内課題レポート、平常点(授業参加、Reaction Paperもありうる)によります。
国際租税法	佐藤修二 神山弘行	期末レポートの提出		
現代日本政治	谷口将紀	その他の方法	Take Home Exam と平常点(演習セッションでの評価)	平常点の割合は20~40% (Take Home Examの成績分布に応じて決定)
財政と金融の法	藤谷 武史	期末レポートの提出		
英米法総論	溜箭 将之	期末レポートの提出		
経済法	白石 忠志	その他の方法	5月・6月の授業中に3回程度実施する「中間小テスト」について不提出1回以内であった学生に一律45点を付与し、7月頃の授業中に各50分程度で2回実施する「期末小テスト」(55点満点)のうち評価の高いほうを加算します。	中間小テストのうち1回は、短い英文読解を交えた出題とします。(その意味で、成績評価に占める英語の割合を変更します。)
社会保障法概説	岩村 正彦	その他の方法		講義最終日の7月12日(月)の授業時間に筆記試験(対面またはオンライン)を実施する旨
ヨーロッパ法	伊藤 洋一	期末レポートの提出		